

3 病原体検査状況

(1) 病原体検査の概要

ア 疾患別、月別検査受入状況(P30 表 13 参照)

受入検体件数 6,327 件（全数把握対象感染症 6,278 件、病原体定点対象感染症 49 件）で、多い順に新型コロナウイルス感染症 6,126 件、腸管出血性大腸菌感染症 91 件、日本紅斑熱 27 件、感染性胃腸炎 25 件等である。

新型コロナウイルス感染症が 2 月に指定感染症として定められた。この検体については、1 月から受入れが始まり年間を通じて多数の検体が搬入された。

他の全数把握対象感染症については、6 月から 10 月にかけて腸管出血性大腸菌感染症の検体が多く、5 月から 11 月にかけて日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の検体の搬入が相次いだ。

定点把握対象感染症については、感染性胃腸炎とインフルエンザの検体が多く搬入された。なお、新型コロナウイルス検査対応のため、4 月以降の受入を中止した。

イ 疾患別病原体分離・検出状況(参照:P31 表 14-a、P32 表 14-b)

9 疾患を中心に 10 種類 13 型（血清型、遺伝子型、遺伝子型および遺伝子群を含む）のウイルス、リケッチア、細菌が分離・検出された。主な疾患から分離・検出されたものは、以下のとおりである。

- (ア) 腸管出血性大腸菌感染症：O26 が 3 件、O111、O103 及び O 型別不明が 1 件分離同定された。
- (イ) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：SFTS ウイルスが 2 件検出された（県内初）。
- (ウ) 日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアが 11 件検出された。
- (エ) 侵襲性肺炎球菌感染症：肺炎球菌 1 株について血清型の試験を行ったところ、非ワクチン株であった。
- (オ) 感染性胃腸炎：ノロウイルス GⅡ型が 13 件とアストロウイルスが 1 件検出された。
- (カ) インフルエンザ：インフルエンザウイルスが 8 件検出され、すべて A2009 型であった。
- (キ) 流行性角結膜炎：アデノウイルスが 2 件検出され、すべて 54 型であった。
- (ク) 伝染性紅斑：パルボウイルス B19 が 1 件検出された。
- (ケ) RS ウイルス感染症：RS ウイルスが 1 件検出され、A 亜型であった。
- (コ) 水痘：ヘルペスウイルス 3 が 1 件検出された。
- (サ) 新型コロナウイルス感染症：新型コロナウイルスが 87 件検出された。

表13 採取月別検体受入状況(令和2年1月~12月)

臨床診断名(疑いも含む)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
全数把握対象感染症	腸管出血性大腸菌感染症			3	1	2	19	17	12	18	12	1	6	91
	日本紅斑熱		1			1	5		4	6	8	2		27
	つつが虫病													0
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)					1	2	1	2	2	1	1		10
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2			1		1				2		1	7
	急性脳炎						1							1
	侵襲性肺炎球菌感染症										1			1
	麻疹	3				1	1	1			1		1	8
	風しん	2					1	1			2		1	7
	新型コロナウイルス感染症	1	26	154	890	271	135	1,332	1,348	507	234	458	770	6,126
小計		8	27	157	892	276	165	1,352	1,366	533	261	462	779	6,278
病原体定点対象感染症	咽頭結膜熱	4												4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎													0
	感染性胃腸炎	6	13	6										25
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)													0
	手足口病	1												1
	ヘルパンギーナ													0
	流行性耳下腺炎													0
	インフルエンザ	4	2	4										10
	急性出血性結膜炎													0
	流行性角結膜炎	2	1	1										4
	細菌性髄膜炎													0
	無菌性髄膜炎													0
	伝染性紅斑			1										1
	RSウイルス感染症	1	1											2
	水痘			1										1
突発性発疹		1											1	
小計		18	18	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
計		26	45	170	892	276	165	1,352	1,366	533	261	462	779	6,327

※新型コロナウイルス検査対応のため、4月以降の受入を中止した。

表14-a 全数把握感染症 疾病別 病原体分離・検出状況(令和2年1月~12月)

		腸管出血性大腸菌O26	腸管出血性大腸菌O103	腸管出血性大腸菌O111	腸管出血性大腸菌O157	腸管出血性大腸菌(型別不明)	SFTSウイルス	日本紅斑熱リケッチア	ノロウイルス	アデノウイルス	エンテロウイルス	インフルエンザウイルス	ヘルペスウイルス	麻疹ウイルス	風しんウイルス	新型コロナウイルス	計
3類 感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	1		1											6
4類 感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)						2										2
	日本紅斑熱							11									11
5類 感染症	急性脳炎																0
	麻疹																0
	風しん																0
指定 感染症	新型コロナウイルス感染症															87	87
計		3	1	1	0	1	2	11	0	0	0	0	0	0	0	87	106

*遺伝子型、血清型のみ試験を行ったもの(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症)は除く。

